浪花八軒家 清素

杵屋佐吉述

ふるやしき十八軒の内にはさそひもあへぬ秋の風

おもひ出ふるさとを立ているやこゝ秋の柳が二もと

清素私のおやぢの若い時こゝへ来てこの柳を

植へましたが段〻大木になりましたので伐て

しまふ事に成ましたが実に名残り惜い事

でございます扨此柳を伐ますと申ますと

家の内がひろくなりますよふに思ひますが

扨〻ふしぎなもので此柳が有ますと

お客様が大勢御入来なさるのでございます

ますこの柳の事も家の男の子が生れた時

植山のある浜のよふな所へ植ましたが

月日のたつ事は早いもので此柳も

秋の末に成ますと実に二目の月ごとに

ひやう〳〵と吹ちらす風の音もうら〳〵

やがてのごとく実に二月と云ものは

いつの間にやら過ぎ行ものでございます

実に月日の立事を秋に成ますと